

おいしい時間 そば 志美津や

厳選した材料使うこだわりの十割手打ちそば

有名産地の契約農家から仕入れて自家製粉したそば粉で手打ちの十割そばを提供する専門店。平成10年にカーター元アメリカ大統領が訪れたことでも知られ、市外からも多くの人が来店する。

昭和39年創業の店を父から引き継いだ店主の清水朗さん(66)が本格的なそば店を目指して研究を重ねた。全国の産地に出向いて選んだ契約農家9軒から仕入れた



そばの実を丹念に選別して殻をむき、店の石うすで毎日製粉し手打ちしている。そばは、小

☎3489-0381 東野川4-13-5 営業=午前11時30分～午後7時30分(ラストオーダー7時、そばがなくなり次第終了) 不定休



そば(土・日・祝日数量限定)、粗挽きそば(数量限定)、十割そば、田舎そばの4種がある。小そばと粗挽きそばの仕込みに超軟水の天然水を使うほか、そばつゆもしょう油や本枯節、昆布、しいたけなど厳選した自然素材を使い、生わさびはサメ皮でおろして提供するなど原材料にこだわっている。

メニューはせいろを中心に、種類の違う具材が楽しめる三味そばと五味そば、温かいかけそばも各

MENU (税込)

①海老天せいろ(粗挽き)¥1,770、粗挽きせいろ¥920、十割せいろ¥900、田舎せいろ¥900、かさねせいろ¥1,420、鴨せいろ¥1,780、辛味大根せいろ¥1,100、五味そば¥2,000海老天三味そば¥2,100、かけそば¥950、海老天ぷらそば¥1,800、鴨南ばんそば¥1,780、そばがき¥900、シフォンケーキ¥350

種ある。また、季節に合わせたそばや洋風の素材を使った変わりそばも好評で、9月半ばからはカキやキノコを使った温かいメニューを提供する。持ち帰り専用のそば粉のシフォンケーキも人気。

平成11年に改装した24席の店内は静かで落ち着いた雰囲気。清水さんは「奥深いそばの味と香りを楽しんでください」と話し、「夕方以降の来店は連絡を」と呼びかけている。



多摩川いかだレース

中学生チームが初優勝

最優秀企画賞は六小おかえりコマギユウ

「狛江古代カップ第34回多摩川いかだレース」(同実行委員会主催)が7月19日(日)に催された。

20の地域から、昨年より12チーム多い募集定員いっぱいの100チームの手作りいかだがエントリー。13レースに分かれて五本松付近から二ヶ領宿河原堰付近まで約1.4kmを下り、スピードやデザインを競い合い、強い日差しにも負けず97チームがゴールした。

ゴール地点ではお楽しみラリー&宝さがし、水遊びができる子どもお楽しみひろば、アユのつかみ取りなどが催された。

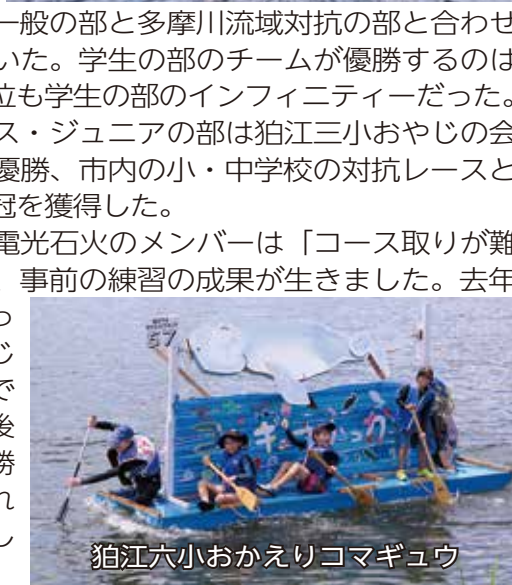
結果は、企画部門で狛江六小おかえりコマギユウチームが初の最優秀企画賞を獲得した。コマギユウは狛江市内の多摩川河床で発見された130万年前のステラダイカイギユウの化石の愛称で、いかだは化石と生きている姿を再現した。チームのメンバーは「地元で発見された化石の話題が評価されて良かった」と喜んでいた。

タイムレース部門では学生の部で出場した狛江二中電光石火が10分10秒

で初優勝、一般の部と多摩川流域対抗の部と合わせて3冠に輝いた。学生の部のチームが優勝するのは初めて。2位も学生の部のインフィニティーだった。

レディース・ジュニアの部は狛江三小おやじの会ジュニアが優勝、市内の小・中学校の対抗レースと合わせて2冠を獲得した。

狛江二中電光石火のメンバーは「コース取りが難しかったが、事前の練習の成果が生まれました。去年7位になった時と同じメンバーで中学生最後の年に優勝できてうれしい」と話していた。



初のBON踊りに3,000人多摩川で55年ぶりの復活

猪方町会が8月8日(日)と9日(月)に多摩川緑地公園グラウンドで盆踊りを開催、両日で約3,000人(主催者発表)の参加者は川風に吹かれながら55年ぶりの夏の行事の復活を楽しんでいた。

「BON踊り」と名付けたイベントは、踊りもボン・ジョヴィなどの洋楽中心で、太鼓の代わりにドラムを使うなど異色の演出だったが、やぐらの周りに踊りの輪ができていた。会場では実行委員が焼きそばやフランクフルトなどを販売、2日間で焼きそば1,200食が売れたという。また、堤防も多くの見物人で埋まった。

増田裕樹事業部長は「町会だけでなく予想よりたくさんの方が来てくれてうれしい。来年はもっと多くの人に楽しんでもらえるようがんばります」と話していた。

社会を明るくする運動 優秀標語5点を表彰

第76回社会を明るくする運動

の狛江市推進大会とコンサートが7月20日(月)エコルマホールで開かれた。

松原俊雄市長と須田啓文推進委員会会長の挨拶に続いて中学生から募集した同運動の啓発標語の応募505点から選ばれた優秀作品が発表された。優秀作品は狛江第一中学校2年井上紗希さん「気をつけよう ネットに潜む 犯罪者」、狛江第二中学校3年栗城裕菜さん「その行動 後悔するのは 未来の自分」、同中2年大澤悠人さん「気をつけて そのイタズラは いじめかも」、狛江第三中学校1年井内澪さん「軽いノリ 送った悪口 消えぬ傷」、狛江第四中学校1年関田千寛さん「個性の色 みんな合わせて 虹になる」の5点。松原市長から井上さんらに賞状と記念品が渡された。

その後、市立中学校4校の吹奏楽部の生徒が演奏を披露、客席から大きな拍手が送られていた。



5日と6日に狛フェス 狛江駅南口にもステージ

狛江フェスティバル2026(同実行委員会主催)が5日(日)・6日(月)

の正午から午後8時に狛江駅周辺にあるたかちゃんえきまえ広場、泉龍寺、ふれあい側道(ほこみち)に加え、今回から新たに狛江駅南口でも開催される。

市内の産業と文化の振興を目的に市の活性化と魅力発信の場創出を図るために開催している。

狛江駅南口ではロータリーを通行止めにし、昼間は子ども参加型ステージ、夜は5日が盆踊り、6日は阿波踊りが繰り広げられる。

泉龍寺の「こまえ夏まつり」では、幅広い年代の市民が懐かしさとかつろぎを感じながら楽しめる場を目的に、ステージでダンスなどを中心に披露するほか、縁日などが並ぶ。

えきまえ広場ではKOMAE BEER FESTIVALとして市内外のブルワリーや飲食店など24団体が出店する。ほこみちでは創業間もない店舗の出店や子どもが楽しめるワークショップコーナーを設ける。ステージでイズミシングオーケストラ、コマエンジェルなど市内の音楽団体などが出演する。ふれあい側道では子どもが楽しめる工作などのコーナーを設ける。

主催者は「複数の会場を回って市民がつくる狛江らしい魅力を楽しんでほしい」とPRしている。イベントの内容はこちら→(二次元コード)

問い合わせ ☎080-4132-2633 繁平さん。

広告

無料講座 “不動産を売るとき”って、どうしたらいいの? 9月5日(土)～29日(火)「不動産の上手な売り方無料個別講座」開催

「三井住友トラスト不動産」では、9月5日(土)～29日(火)の期間中、「不動産の上手な売り方無料個別講座」を開催します。講座では、不動産売買の基礎からノウハウまで解説。この機会に気軽に参加を。

日時 9月5日(土)～29日(火)各日10時～17時※希望日時の3

日前までに申し込みを(水・祝定休)※相談したい不動産の所在地を伝えてください※所在地や内容により対応できない場合があります 場所 マガザン経堂3階会議室(経堂センター)世田谷区宮坂3-4-3※地図参照

定員 各日3組 申込 講座事務局 ☎0120-226-116 受付9時30

分～17時30分※個人情報は受付と会場案内に利用します

